



鳥瞰イメージパース
(南側を望む)

■ 建物概要

計画地：品川区東大井3丁目18番34号
 主要用途：中学校
 構造：鉄骨造
 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
 規模：地上6階建て
 建物高さ：24.98m
 敷地面積：8,229.72㎡
 延床面積：11,811.67㎡
 建築面積：3,136.50㎡

■ 建物概要比較表

	既存校舎	新校舎
延床面積	6,776㎡ (校舎：5,840㎡ 体育館：839㎡ 倉庫：97㎡)	11,811㎡ (校舎：11,621㎡ 屋外倉庫等：190㎡)
建物高さ	18 m	25 m
構造	鉄筋コンクリート造	鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	校舎：4階建、体育館：3階建	6階建
普通教室	9室	21室(+転用可能室3室)
特別支援室	特別支援学級：3室 特別支援教室：1室	特別支援学級：4室 特別支援教室：1室
多目的ホール・学習室	学習室：2室	多目的ホール：1室 学習室：6室
体育館	約615㎡	体育館：約700㎡ 小体育館：約400㎡
グラウンド (テニスコートを含む)	約3,030㎡	約2,720㎡

■ 計画コンセプト

①. 主体的な学習、活動、交流を促す、豊かな空間を持つ学校

ICT(情報通信技術)教育環境を充実させ、生徒の主体的な学習、活動、交流を促す「学年ラウンジ」等を校舎の様々な場所に計画します。

②. 地域と共にある学校

各玄関から利用しやすい位置に「PTA室」、「CS(コミュニティスクール)室」、「多目的ホール」等を配置し、地域にとって身近に感じられる学校を計画します。

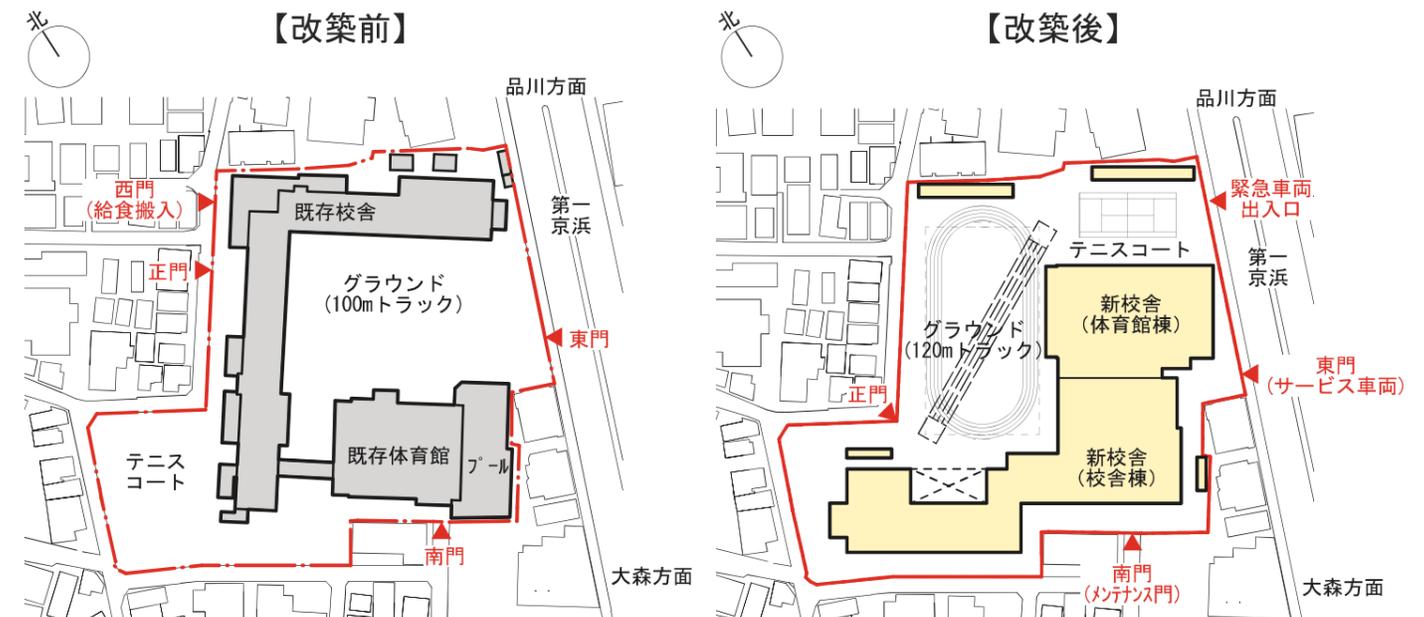
③. 屋内外の運動施設の充実

学級数に対応した学習展開を円滑に推進できるよう、屋内外運動場を最大限に確保します。また、狭小敷地の中での授業・部活動・イベント・地域利用等を考慮して、校庭・体育館に加え、「テニスコート」や「武道場兼小体育館」を計画します。

④. 災害に強く、避難所機能を継続できる施設

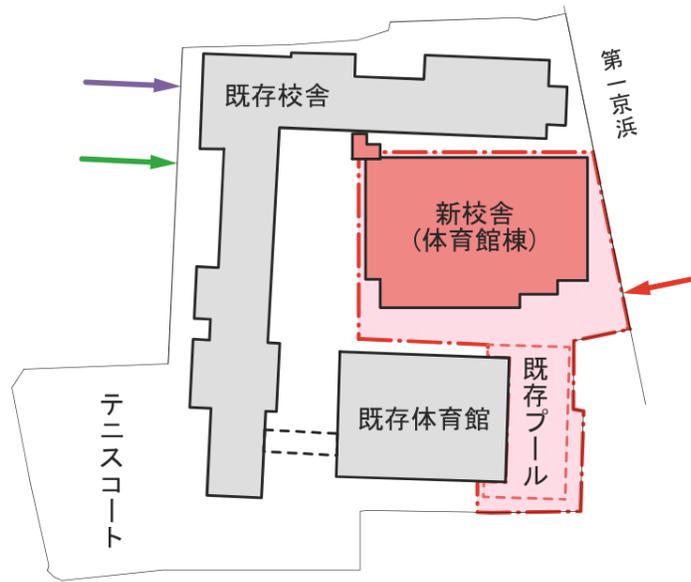
避難所機能を継続できる施設として、建物の十分な耐震性を確保します。また、大雨等による浸水対策として、「体育館」や「多目的ホール」を上階に計画するとともに、建物周囲に止水壁等を設置して、避難所機能の強化を図ります。

■ 建物配置比較

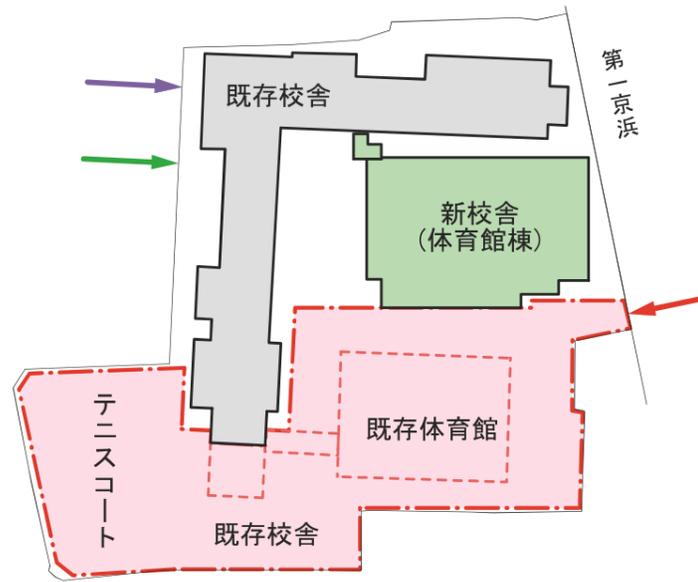


■ 建替計画

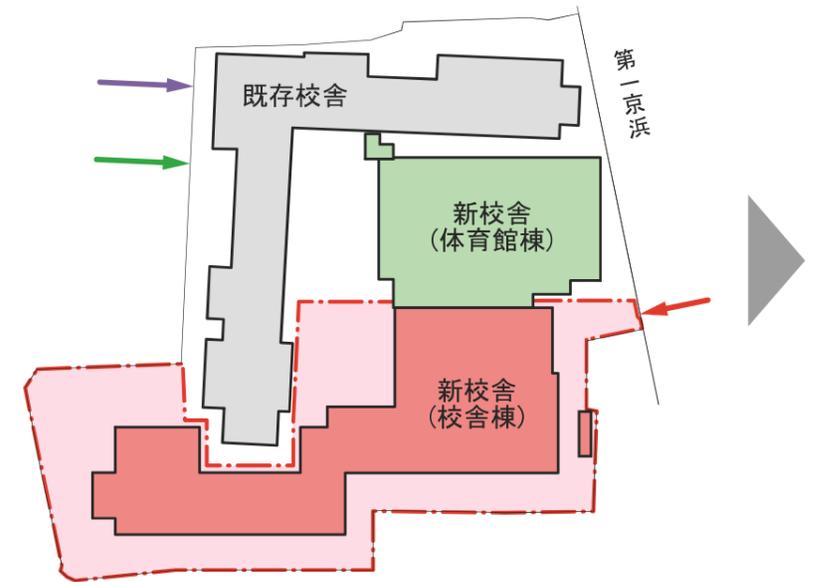
ステップ1 新校舎（体育館棟）建設・既存プール解体



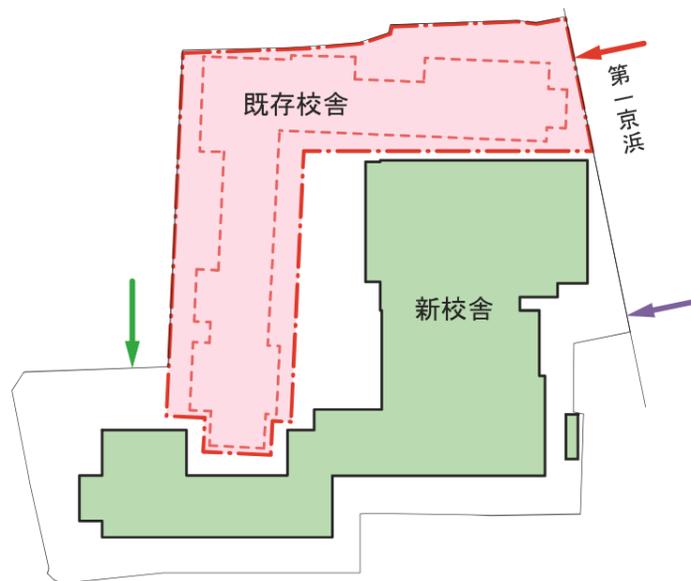
ステップ2 既存体育館・校舎一部解体



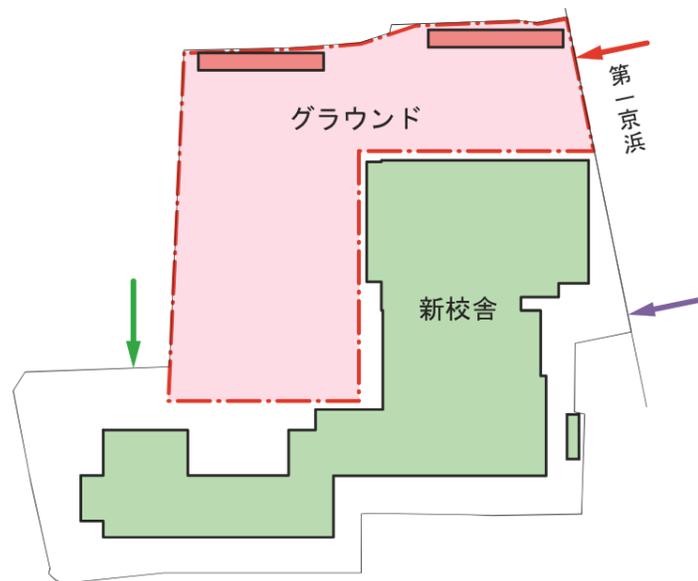
ステップ3 新校舎（校舎棟）建設



ステップ4 既存校舎解体



ステップ5 グラウンド整備



凡例

	工事範囲		既存建物		生徒動線
	工事中		新校舎		サービス動線
	解体建物				工事動線



令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度																				
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ステップ1						★	ステップ2			ステップ3						★	ステップ4			ステップ5															
新校舎（体育館棟）建設 既存プール解体 17.5 カ月						引越	既存体育館・ 校舎一部 解体 8.5 カ月			新校舎（校舎棟） 建設 22.5 カ月						引越	既存校舎 解体 6 カ月			グラウンド 整備 6 カ月															